



## 地域とボランティアが支える子ども食堂

### 賑わうシェアカフェ「長後食堂」

シェアカフェ「長後食堂」を経営する高見広海さんを中心に、昨年11月より地元大学生、商店主、市議らが地域活性化のための会議を発足した。話し合いの中で、1月2日(月)に「長後食堂」を中心に「子ども食堂」をオープンした。

シェアカフェ「長後食堂」で新年早々、子ども食堂が開店した。事前に小学校(長後小、富士見台小)と近隣にチラシを配布したこともあって、親子連れ、高齢者が約60名来店し、狭いお店は人、人で大盛況だった。

メニューは豚汁、おにぎり、餃子等。「美味しい」と口々に言って豚汁をおかわりする子どももいた。隣りの空き地を利用してテーブル、椅子を出し、皆で青空の下での食事は格別だったかも。

この日のため、多くの支援者も現れて、野菜や米、餃子の皮とあんの提供があり、10名のボランティアさん達は、朝から準備に大忙し、なんとか開店にこぎつけて、ホッとしている様子だった。

子ども食堂を開く目的は地域の人が気軽に立ち寄れ話せる場所が欲しいから…。食堂があれば、テーブルを囲んで子どもも大人も一緒に話し、食べたりできると日大の学生が提案したとか。「今後、月1回、第1日曜日

に開いて継続していく予定です。そのためにはたくさん協力者、支援者を募っていただきたい」と高見さんは熱く語った。



ボランティアさん達の手作りおにぎりも大好評!

「皆で食べると美味しいね」  
温かい豚汁で心も和む



## 賀詞交換会



1月7日(土)長後市民センターでの長後地区新年賀詞交換会。下土棚祭りばやし・獅子舞保存会の踊りが披露された。

## 桜まつり

長後公民館主催事業

4月1日(土)13時~15時

長後公民館前庭(雨天体育室)

サークル発表・甘酒無料サービス・模擬店

問合せ:長後公民館(46)7373

## 老人会リポート(投稿) ..老人クラブの魅力 上高倉ゆめクラブ 森田靖子

私は、上高倉に住む七十二歳のおばあちゃんです。三年前、地域の盆踊りの時、ある人から「アンタ、ゲートボールやらないかい?」と話し掛けられ、以前から興味があったので即答「やりました」

## 長後だより 終刊のお知らせ

長きにわたり多くの皆様にご愛読いただきました「長後だより」を、本年3月号をもちまして終刊とさせていただきますことになりました。

長後地区機関紙「長後だより」の創刊は昭和44年7月7日号が第1号でした。当時は、防犯、防災、交通、衛生、青少年愛護などの各委員会が活動していました

が、各委員会の広報紙予算はありませんでした。そのため市政の協力を得て市民(行政)センターを事務局とし各部会が協力し合い部会の情報を提供する、季刊紙「長後だより」を年4回、月間「おしらせ」を回覧方式により発刊することです

ターゲットしました。資金は広告料によって賄い、編集委員は各部会から選ばれて委嘱状が授与されました。

48年後の現在、地区5部会(防犯、防災、交通、生活

環境、青少協)にも予算が付き独自の広報紙を出すようになり、記事が重複するような事もありました。創刊から48年を経て「長後だより」の役割もある意味で終えたものと思われまます。

時代の流れで、編集委員の人員不足が深刻となり、従来で12名ほどが現在では半数を切るという状況です。取材の人員も限られ、今後の継続が難しくなりました。

このような実情に鑑み、編集委員及び理事と相談の結果、今年度3月をもって終刊やむなしという結論に至りました。50周年を目指して頑張るつもりでしたが、2年早めに終刊となり、理事及び編集委員は非常に残念に思っています。

最後に48年間、広告料や賛助会費などのご協力を頂きました皆様、読者の皆様から感謝とお礼を申し上げます

長後だより編集委員長

野渡 訓

みんなは一人のためにの精神です。バス旅行は自宅の近くで乗降でき、介護の心を感じるガイドさんなどから心温かいおもてなしを安価で楽しんでいます。まだまだ魅力のある活動がIPPパイあるグループです。皆さん毛嫌いせず、一度のぞいてみませんか?楽しみが待っていますヨ。

# 富士見台小学校

## タイムカプセルに大集合

2001年3月、ミレニアムの記念として、当時富士見台小学校に通う1〜6年生の児童626人が、校門前の日時計の下にタイムカプセルを埋めた。

そして2017年1月8日(日)、学校創設50周年に開封するとの知らせに380人の生徒(うち代理の親など48人)、教職員17人、役員7人、総勢404人が集まった。学年毎の受け付けに、懐かしい担任の先生の姿があり、はずかしいやら、うれしいやら…。

日時計の前で、当時のPTA会長の安田さんと多田校長が挨拶し、いよいよ開封、クラス名を記した梅酒

を漬けるビンが次々と出され、仲間たちと体育館に移動した。

参加者は16年ぶりに見る自分の絵や作文を手に複雑な面持ちで、友だちと笑い、当時の自己PRビデオが映し出されると、釘付けだった。

先生方も小学校の同窓会はやらないので、この機会に再会できて、うれしかった。

安田会長は、「ここまで盛大にでき



16年前の作品を見ながら懐かしの体育館で再会を喜ぶ

たのは、地域でポスターを張ってくれたり、たくさんの方の協力があったからこそ、感謝の一言です。作品は富士見台小学校で3月まで預かっています。詳細はホームページを見てください」と話した。

### 創刊当時の思い出

## 人々との出会いが「たからもの」



元編集委員の三尾茂子さん

長後だより創刊から4年後の昭和48年、経済の急成長と人口流入、長後は活気あふれる街だった。

主婦の視線をとおして「長後の今」を伝えようとお母さん編集委員7人が集まった。子育て真っ盛りの編集経験ゼ

ロに近いメンバー。

毎月、企画・取材・編集・校正・ガリ版原紙作成・印刷。すべて手探りで無我夢中。季刊長後だよりは神奈川新聞社へ出稿、校正のため2回出向く。

いすが進出し、長中、長小、富士見台小も学級は増える一方。自治会、社協、民協、青少年活動、社会教育活動もみんな活発。道路、街の環境、教育環境、生活の安全面が追

い付かない状態。街の課題、話題をつなぐパイプの役割りとして編集活動は楽しかったし、編集委員の交代もスムーズだった。

地域の皆さんの協力と支援。歴代委員長の暖かく細やかな心遣い。そして何よりいい仲間に出会えたこと、引き継いでくれた現編集委員たち。生きた長後の歴史の中に身を置けたことも私の宝物。

みんな、みんなにありがとう！ (投稿)

### 終刊にあたり、長後だよりへの皆様の声をお寄せください

100字以内  
2月28日(火)締切  
長後だより投稿箱又はFAX(46)7034市民センター長後だより宛て

#### 民生委員・児童委員名

(1月1日付委嘱)

氏名 塩谷正幸  
担当地区 レーベン藤沢  
電話番号 (45)0807  
民生委員・担当地区変更  
田口泰二委員 上高倉南部  
宮原京美委員 上高倉丸山

### 長後地区防災講演会 「地域防災と男女共同参画」

日時 2月18日(土) 13:30~15:40  
場所 長後市民センター3Fホール  
講師 減災と男女共同参画研修推進センター 事業コーディネータ 瀬山紀子氏  
\* 事前申込不要、入場無料です  
\* お車の来場はご遠慮ください

### 告知板

#### 《公民館後援事業》

「クラフト工房・長後」  
クラフトバンドでカトラリー  
ケースを作ってみよう!

日時 3月8日(水) 9時30分  
分 11時30分

場所 長後公民館文化室  
内容 初心者向けの講座です  
講師 澤口光子先生  
定員 成人15名  
費用 500円  
持物 ハサミ、20センチ位の定規、洗濯バサミ10個、木工用ボンド(速乾性のもの)  
申込 2月24日(金) 8時30分から電話又は来館 長後公民館(46) 7373

#### 「長後花いっぱい運動 推進委員会」

①花の広場  
活動日時 原則3〜11月の第3木曜日9時から  
活動内容 草刈り、種まき、苗の植え付け等

②市民センター北側広場花壇  
活動内容 苗の植栽を年2回(6月・11月予定)／花壇の草刈り・水やり等を随時。3月又は4月に苗の植栽を実施予定

#### 《サークル会員募集》

「あまふく」

日時 第2、4土曜日 10時〜12時

場所 長後公民館  
内容 小学生のための造形教室

講師 大庭京子先生  
会費 2100円/月(サークル費1800円/年2回)

申込 水野友紀子080-5671-4680

《郷土づくり推進会議》  
定例会のお知らせ  
日時 2月17日(金) 13時30分  
場所 長後市民センター2階文化室  
\* 傍聴自由です

#### 編集後記

☆現代表記では「編集」と書き換えているが、本来は「編輯」。「輯」とは車と口と耳で成り、耳には目も含まれている。人や物を集めて乗せる車を意味しているという。

☆話し、聴き、視た事柄を紙面という車に乗せるのは私達の活動そのもの。創刊から現在までの発行数は552回、そこには先輩達が連続と編んだ街の歴史が記されている。

☆「終」とは糸の最後の結び目を表わすという。終刊に携わる者として、その結び目は結び切りではなく、花結びにして明日につなげたい。  
拜 (水)

\*左のQRコードから長後だより15・16年度既刊分を閲覧できます。



http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/chougo-c/chogodayori.html